

令和7年度建設業の働き方改革に関する労働時間等説明会
アンケート集計結果について

沖縄労働局労働基準部監督課

参加者に関すること

問1 参加された方の所属

選択項目

元請業者（主に建築工事）

元請業者（主に土木工事）

元請業者（主に設備工事）

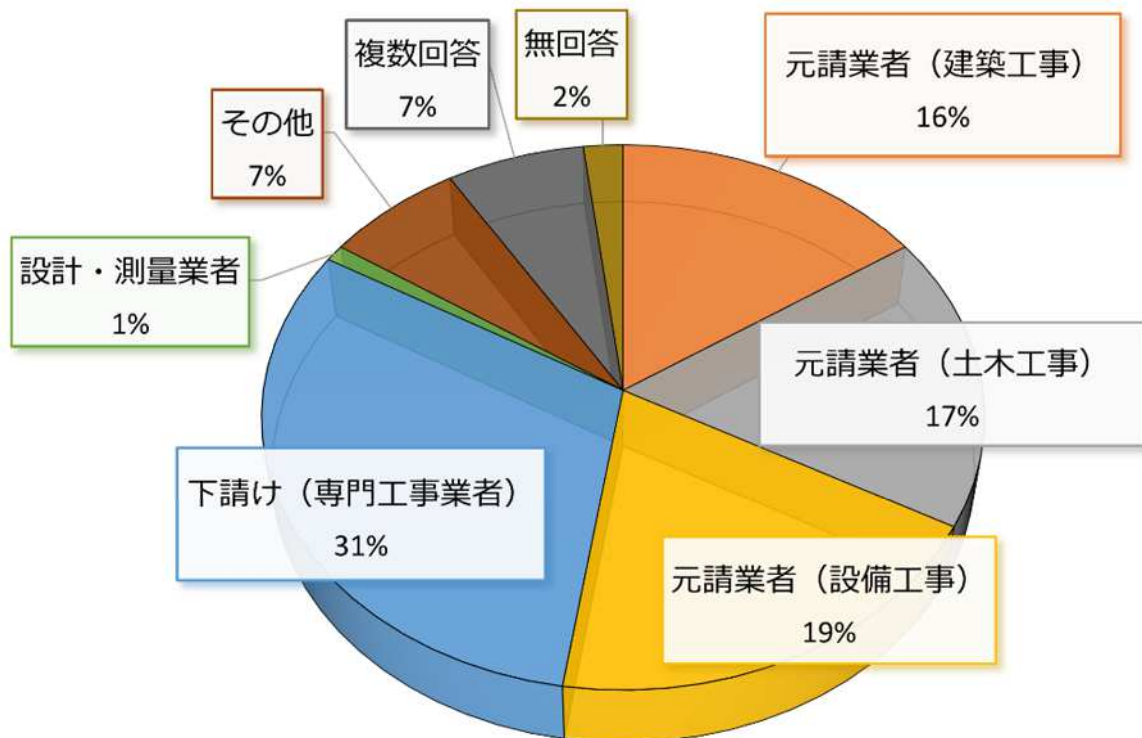
主に下請け（専門工事業者）

設計・測量業者

発注者

その他

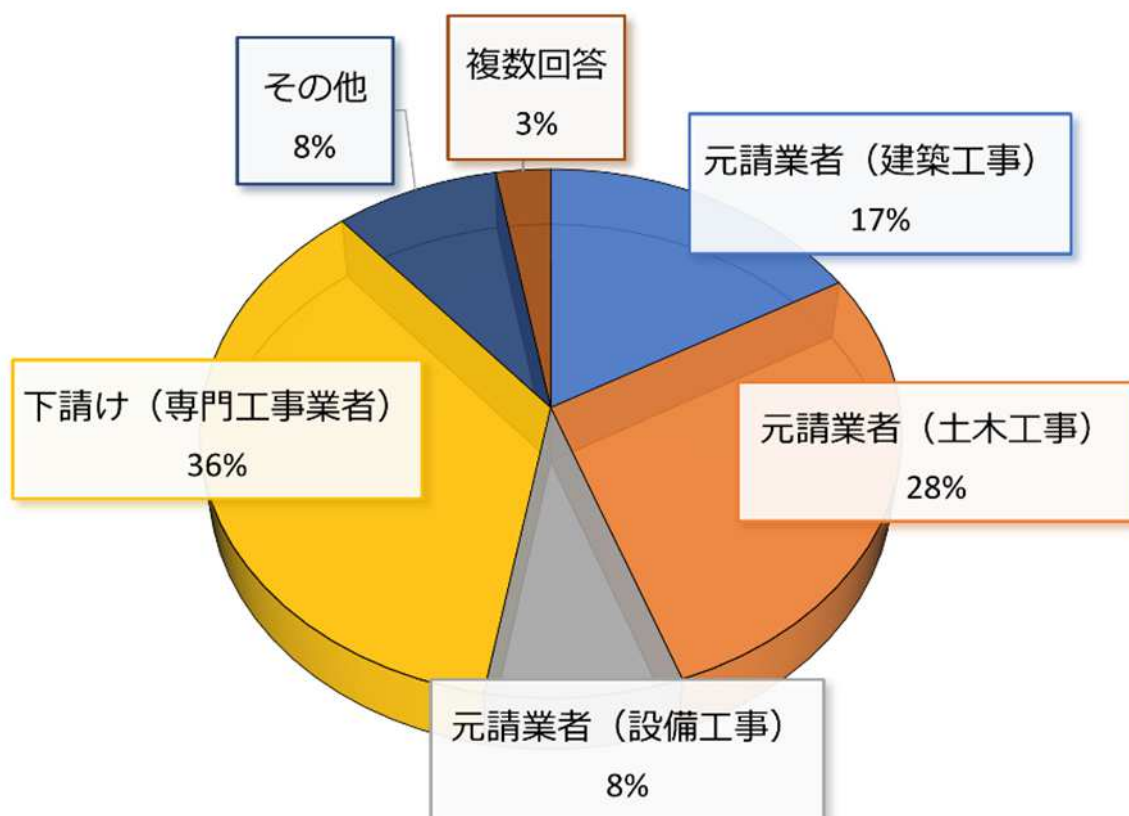
< 中南部地区 > アンケート回収枚数 103 枚（うち無回答 2 件）



参加者の 52% が元請業者（うち、建築工事が 16%、土木工事が 17%、設備工事が 19%）。
選択項目「その他」の回答内容としては「生コン協同組合」が 1 件、「造園」が 4 件、「電気」が 1 件。また、「その他」を選択しているが回答欄に何も記入されていないものが 1 件。複数回答しているものが 7 件、無回答が 2 件。

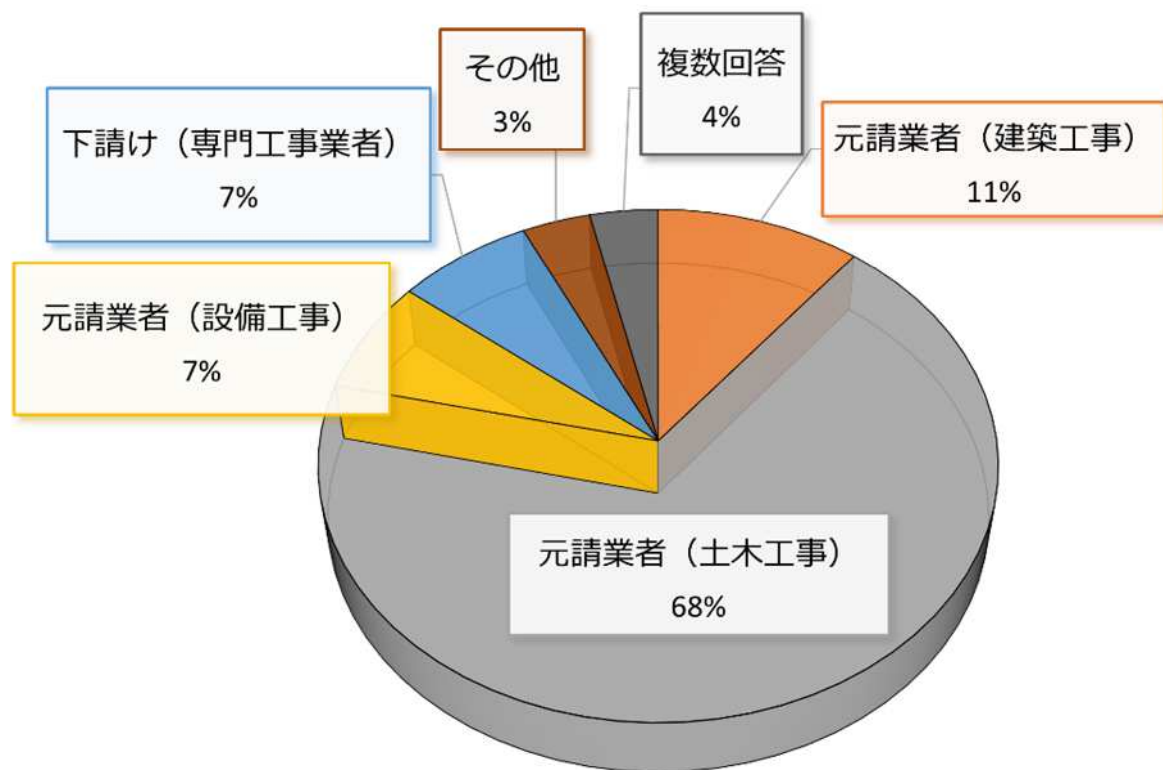
詳細については別添の集計表のとおり。

< 北部地区 > アンケート回収枚数 36 枚（無回答 0 件）



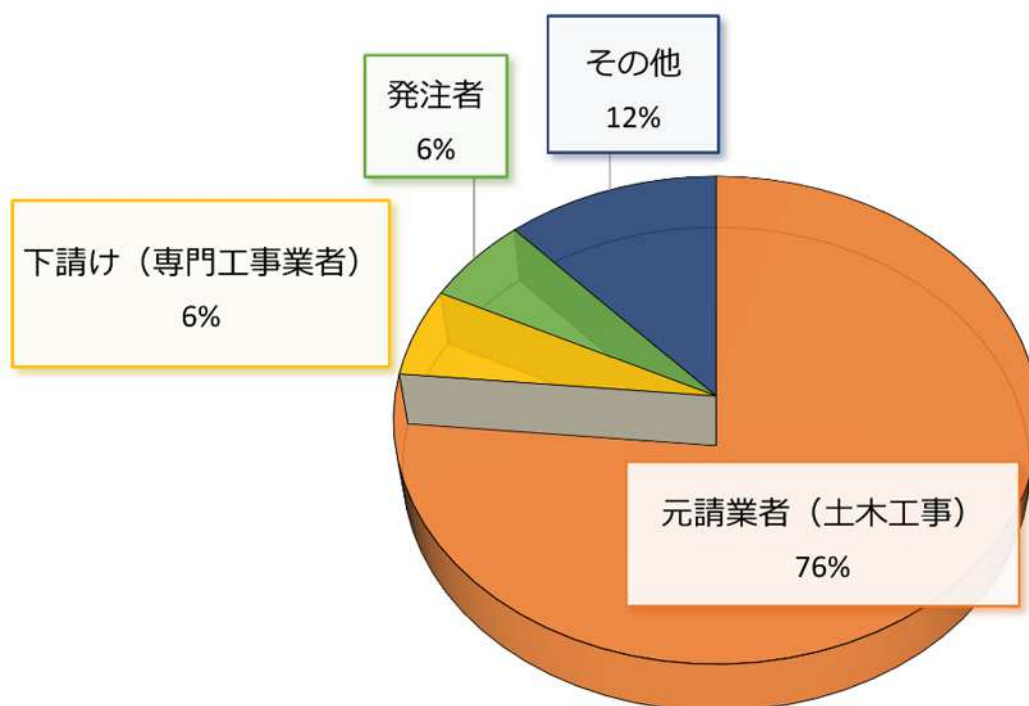
参加者の 53% が元請業者（うち、建築工事が 17%、土木工事が 28%、設備工事が 8%）。
選択項目「その他」の回答内容としては「製造業」が 2 件、「生コン製造」が 1 件。複数
回答しているものが 1 件（「下請け（専門工事業者）」と「その他（解体工事）」）。
詳細については別添の集計表のとおり。

< 宮古地区 > アンケート回収枚数 28 枚（無回答 0 件）



参加者の 86% が元請業者（うち、建築工事が 11%、土木工事が 68%、設備工事が 7%）。
回答欄に何も記入されていない選択項目「その他」が 1 件。
詳細については別添の集計表のとおり。

< 八重山地区 > アンケート回収枚数 17 枚（無回答 0 件）



参加者の 76%が元請業者（土木工事）。発注者の参加が 1 件（全 4 地区で 1 件）。選択項目「その他」の回答内容としては「協同組合」が 1 件、回答欄に何も記入されていないものが 1 件。詳細については別添の集計表のとおり。

参加者に関すること

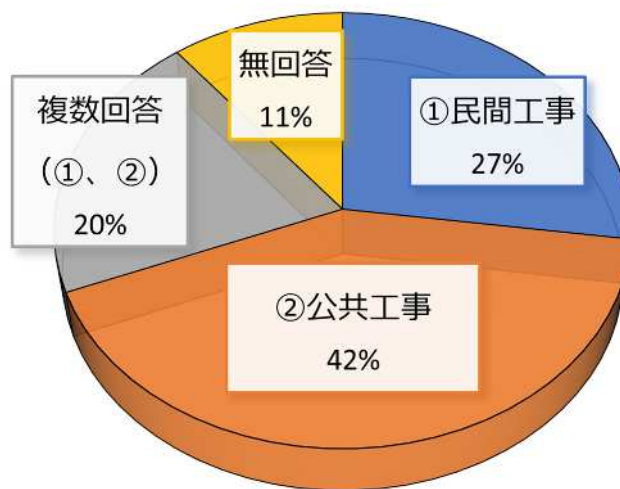
問2 主に受注している仕事

選択項目

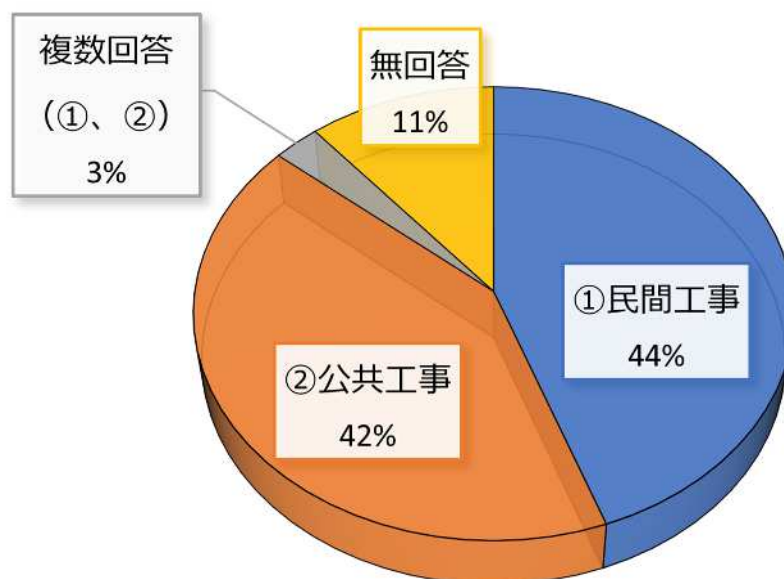
民間工事

公共工事

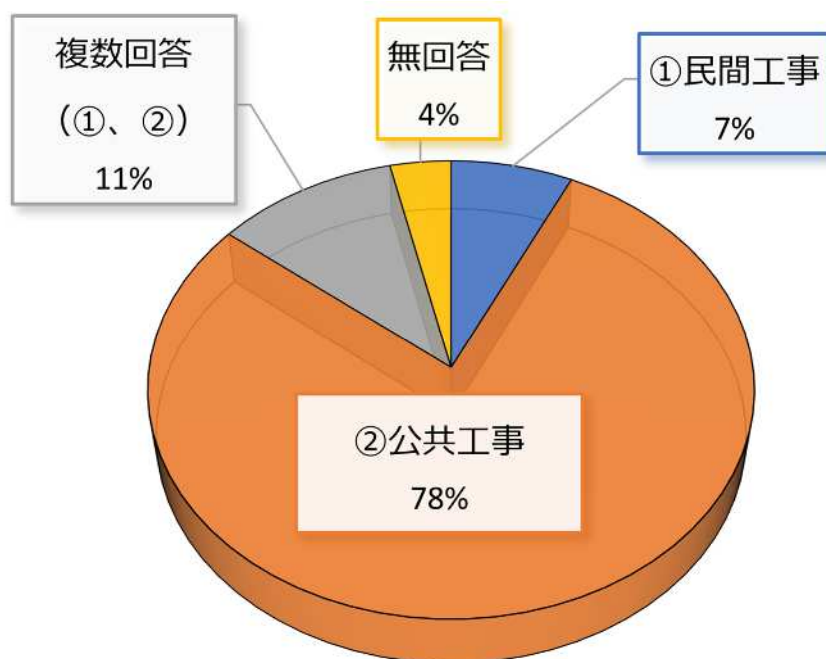
< 中南部地区 > アンケート回収枚数 103 枚（うち無回答 11 件）



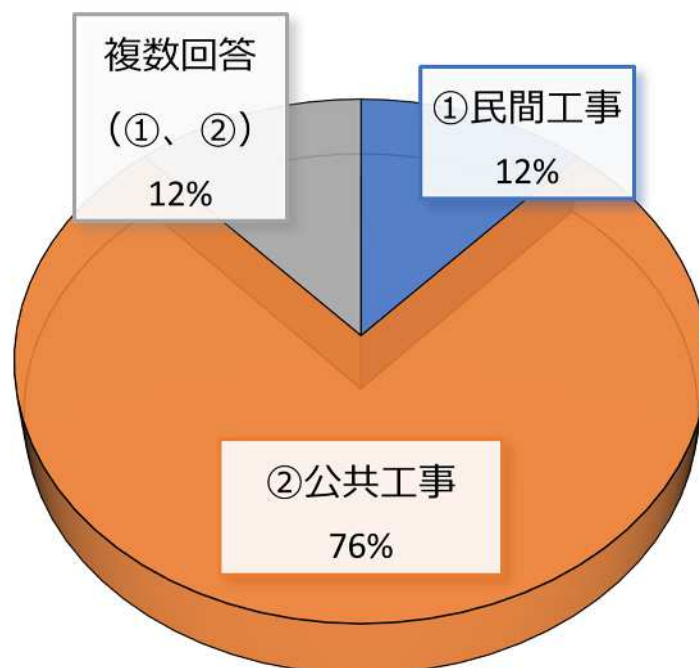
< 北部地区 > アンケート回収枚数 36 枚（うち無回答 4 件）



< 宮古地区 > アンケート回収枚数 28 枚 (うち無回答 1 件)



< 八重山地区 > アンケート回収枚数 17 枚 (無回答 0 件)



休暇制度について

問3 現場は週休2日制となっているか

選択項目

週休2日制である

現場によっては週休2日制となっている

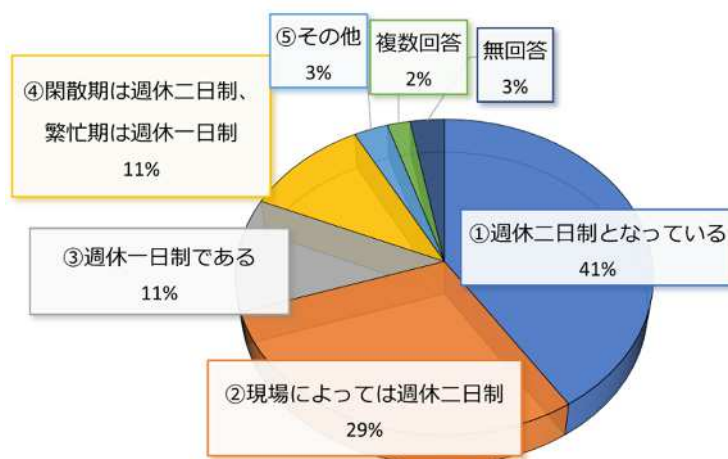
週休1日制である

閑散期は週休2日制、繁忙期は週休1日制である

その他

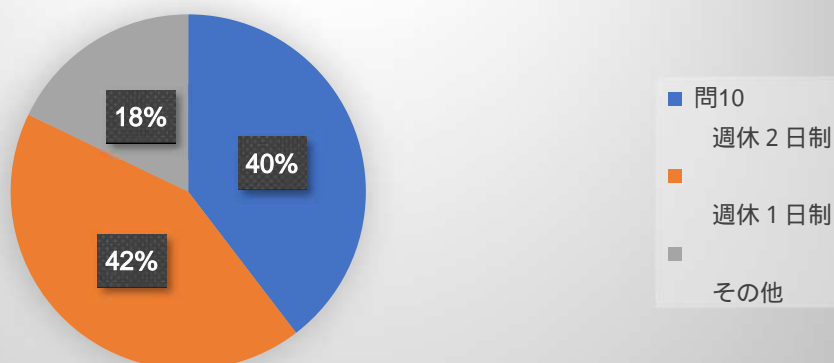
昨年実施した説明会アンケートの選択項目は 週休2日制 週休1日制 その他。

< 中南部地区 > アンケート回収枚数 103 枚 (うち無回答 3 件)

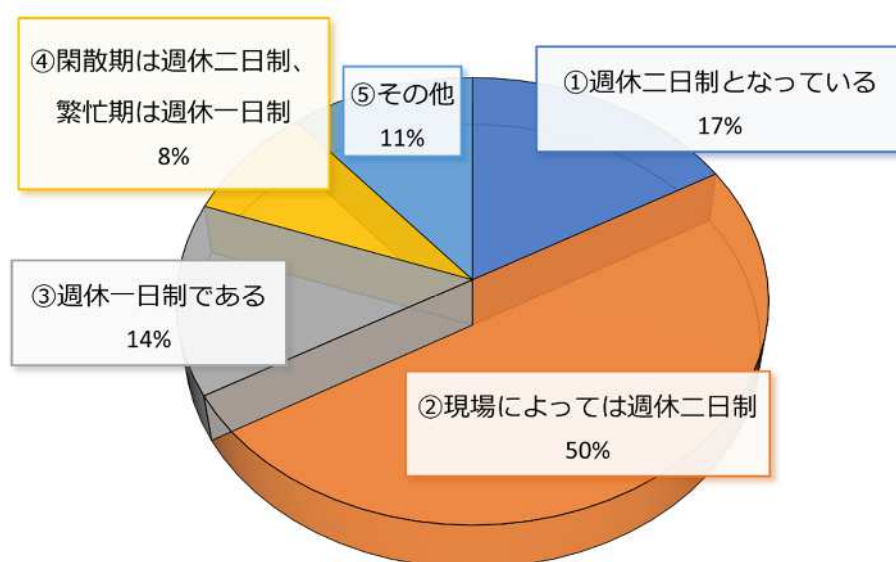


令和6年実施アンケート

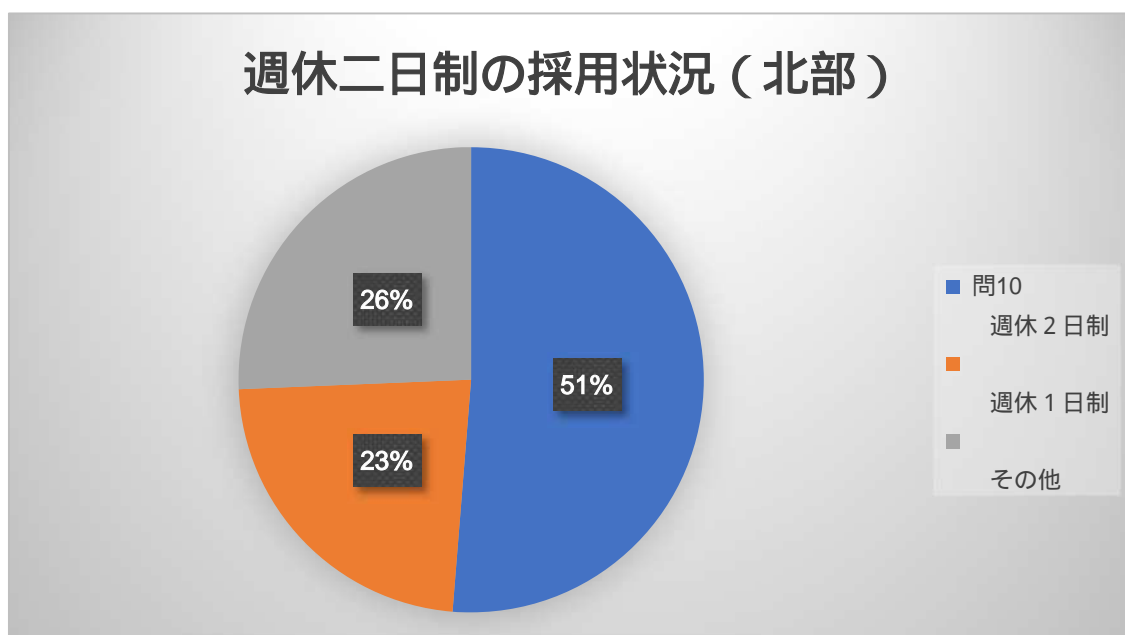
週休二日制の採用状況 (中南部)



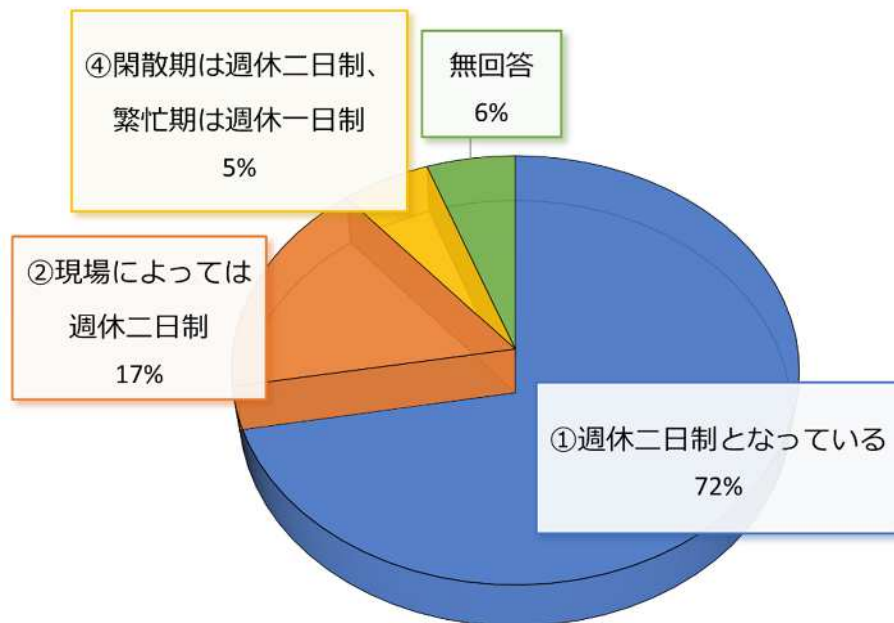
< 北部地区 > アンケート回収枚数 36 枚（無回答 0 件）



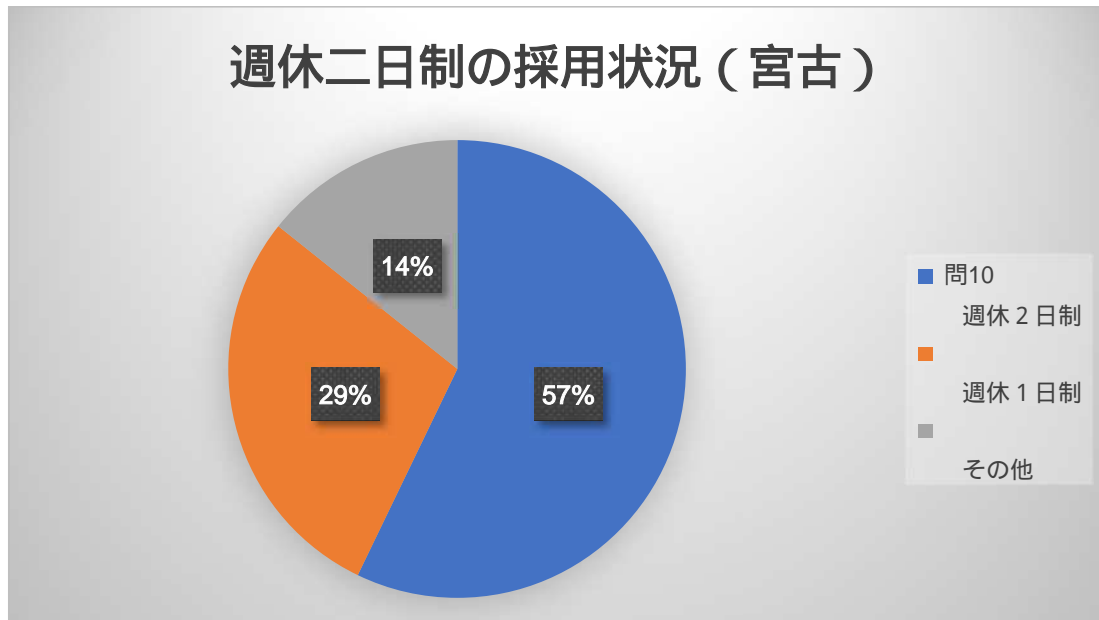
令和 6 年実施アンケート



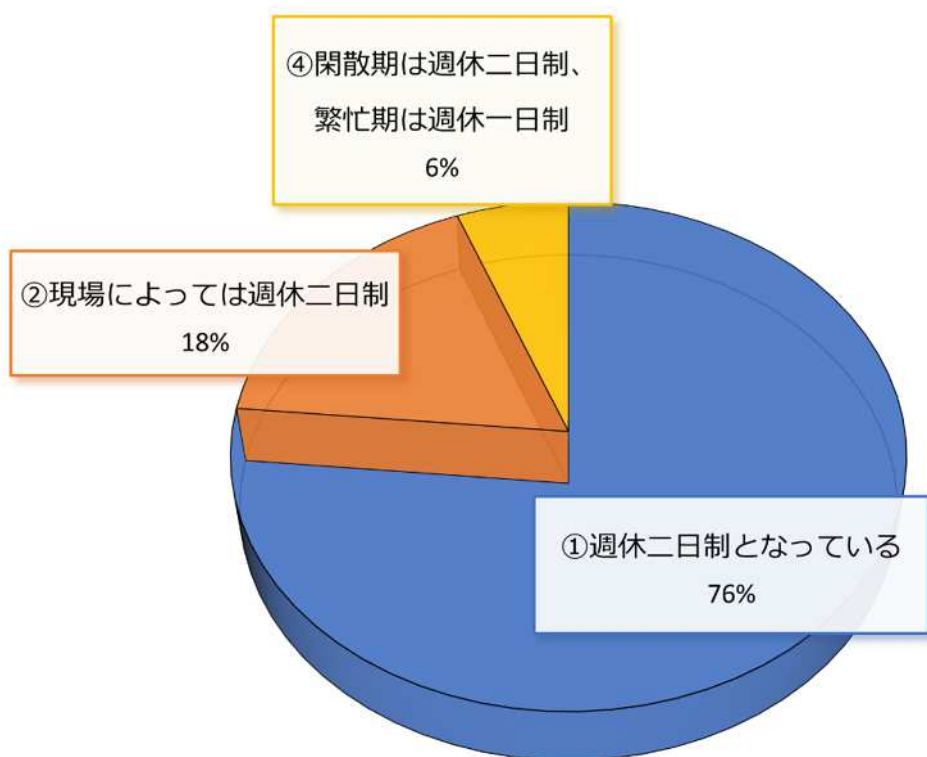
< 宮古地区 > アンケート回収枚数 28 枚 (うち無回答 1 件)



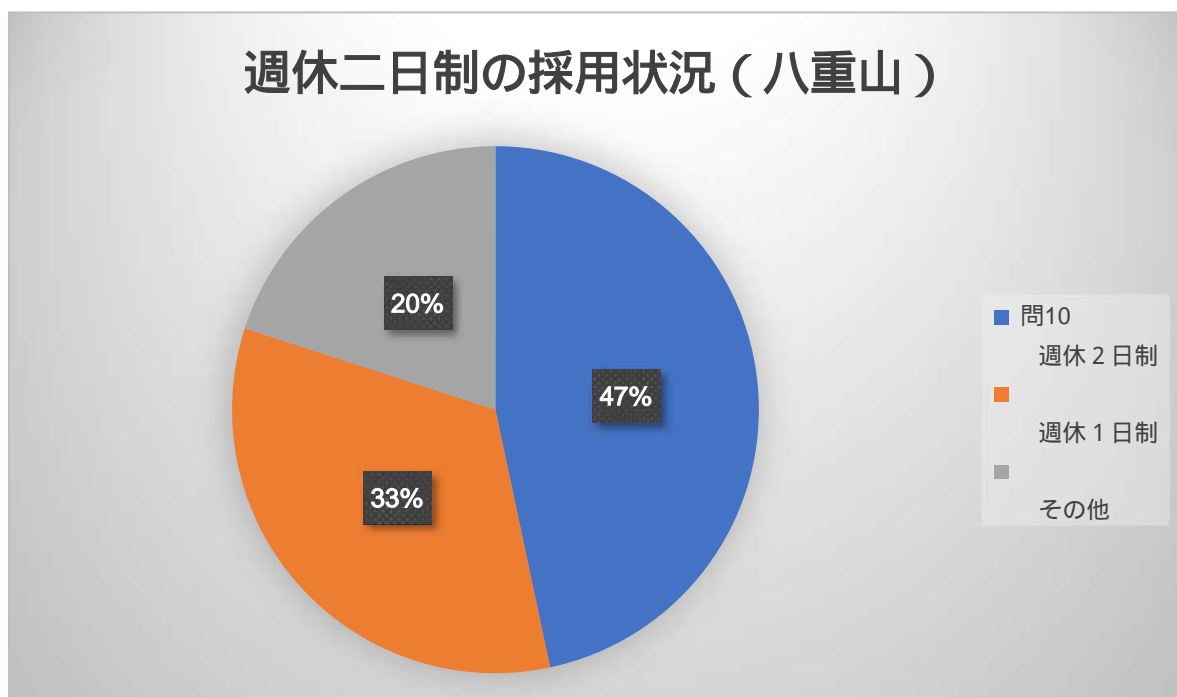
令和 6 年実施アンケート



< 八重山地区 > アンケート回収枚数 17 枚（無回答 0 件）



令和 6 年実施アンケート



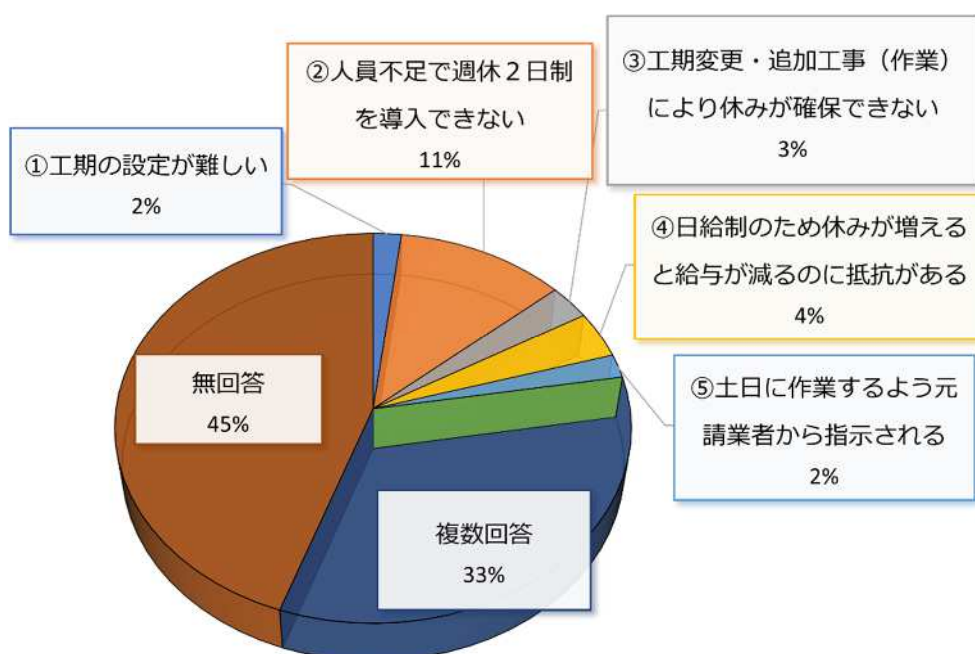
休暇制度について

問4 (問3で 以外を選択した場合) 週休二日制ではない理由【複数回答可】

選択項目

- 工期の設定が難しい 人員不足で週休2日制を導入できない
- 工期変更・追加工事(作業)により休みが確保できない
- 日給制のため休みが増えると給与が減るのに抵抗がある
- 土日に作業するよう元請業者から指示される その他。

< 中南部地区 > アンケート回収枚数 103 枚 (うち無回答 46 件)

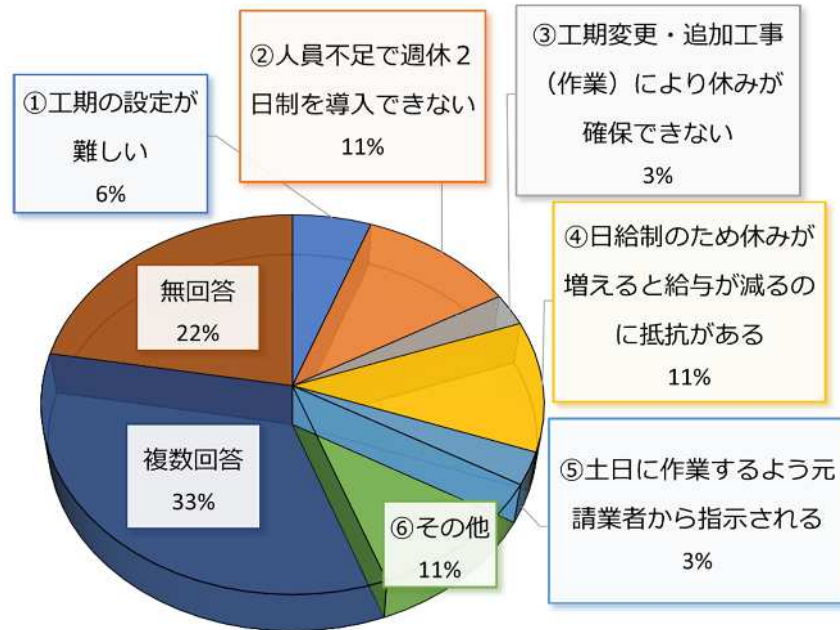


週休二日制ではない理由 その他(自由回答)の内容としては以下のとおり。「工程の遅れ又は工程の組み方で週休二日は厳しい」、「協力会社からの要望」、「下請業者が土曜日も作業したがる」、「発注者が土日休日補正していない(市町村等)土日作業する現場があるので、休土日でも休むのに抵抗がある」、「天候に左右されるため」、「協力業者が日給制のところがあり、休めない」等。

無回答は46件のため割合として45%となっている。問3の「現場は週休2日制か」という質問に対し、中南部地区は「週休2日制となっている」と回答した件数が42件となっていることから、問3で を選択した場合は本項目の質問「週休2日制ではない理由」については回答する必要がないため、上記のような結果になったと史料する。

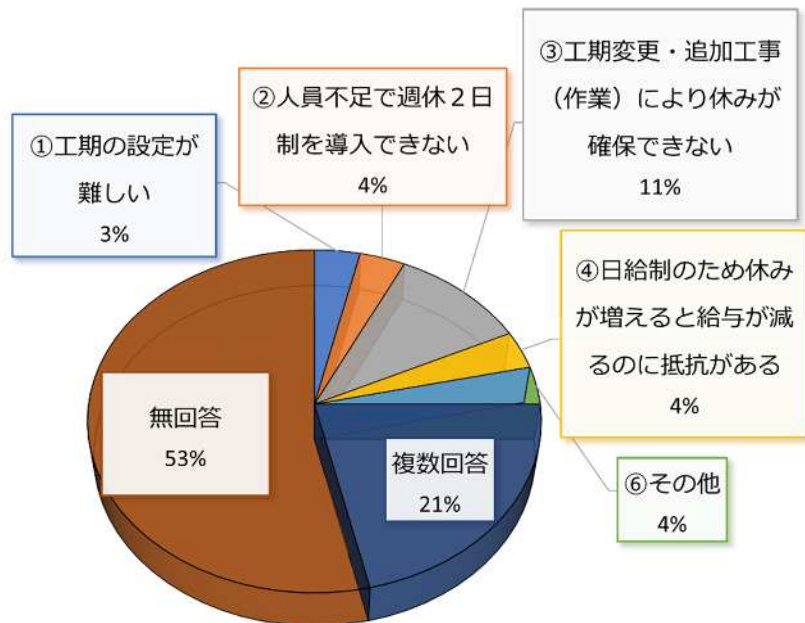
詳細については別添の集計表のとおり。

< 北部地区 > アンケート回収枚数 36 枚（うち無回答 8 件）



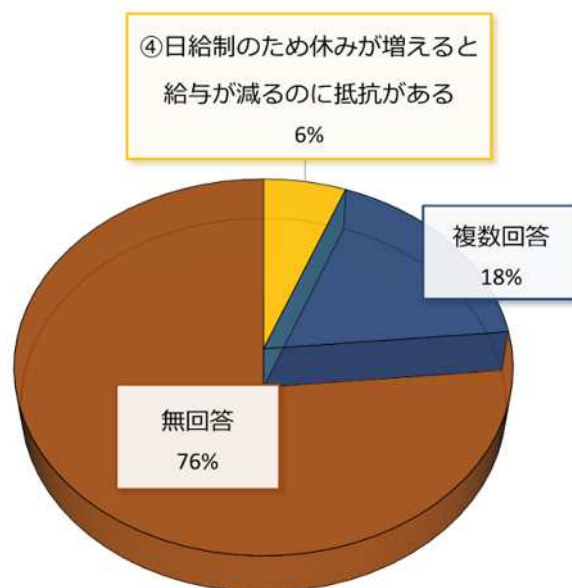
週休二日制ではない理由の その他（自由回答）の回答としては記載なしが2件、「休日にしか入れない現場や発注者の要望による場合がある」「総合事務局以外の工事において、工期設定が短い。前工事の工事が遅れ、着手日が遅れるが工期末が変わらない等のケースがある」等。無回答8件。詳細については別添の集計表のとおり。

< 宮古地区 > アンケート回収枚数 28 枚 (うち無回答 15 件)



無回答は 15 件のため割合は 53%(無回答の割合については同上の理由であると思料)、詳細については別添の集計表のとおり。

< 八重山地区 > アンケート回収枚数 17 枚 (うち無回答 13 件)



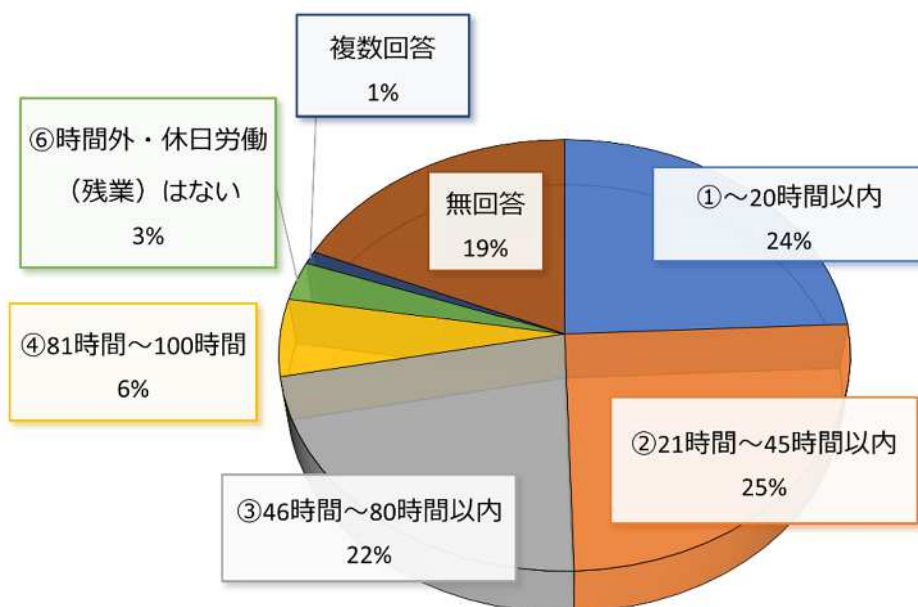
無回答が 13 件のため割合は 76%(無回答の割合については同上の理由であると思料)、詳細については別添の集計表のとおり。

時間外・休日労働について

問5 令和6年中で1か月の時間外・休日労働数（残業時間数） 最多の方
選択項目

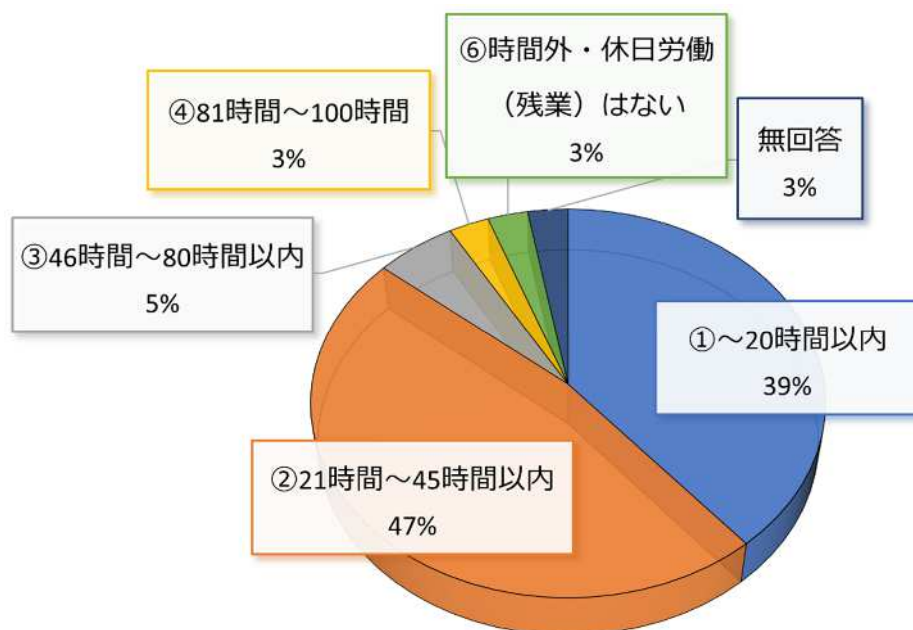
- | | |
|-------------|-----------------|
| ～20時間以内 | 21時間～45時間以内 |
| 46時間～80時間以内 | 81時間～100時間 |
| 101時間以上 | 時間外・休日労働（残業）はない |

< 中南部地区 > アンケート回収枚数 103 枚（うち無回答 19 件）



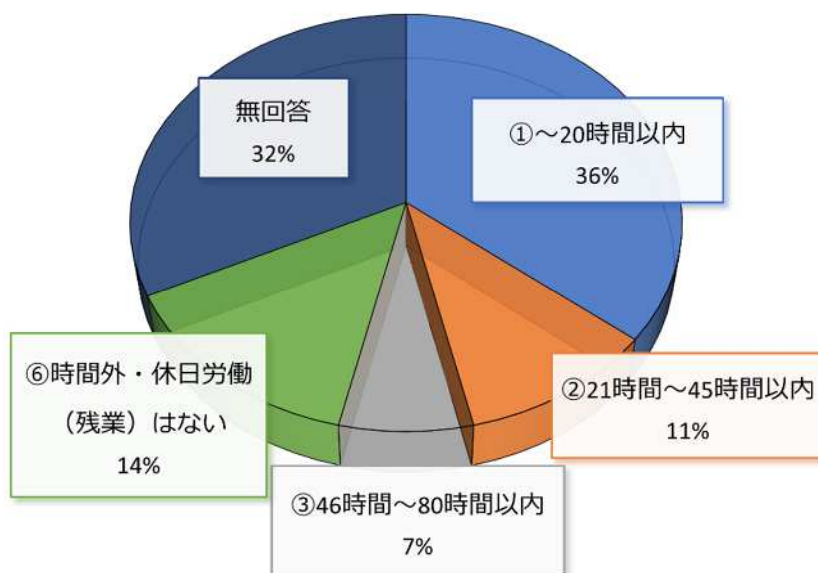
101時間以上は0件、無回答が19件であった。詳細については別添の集計表のとおり。

< 北部地区 > アンケート回収枚数 36 枚（うち無回答 1 件）



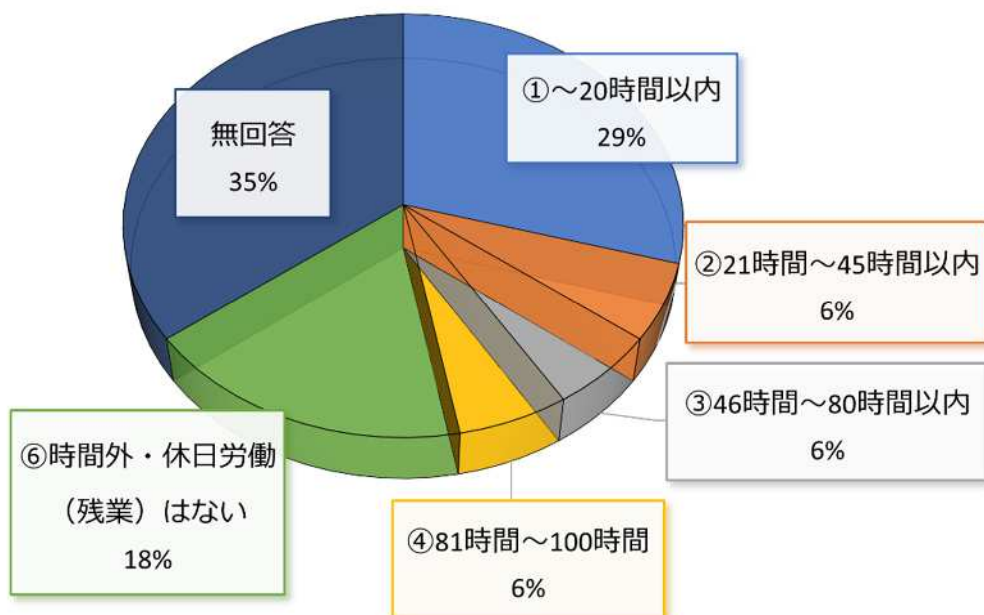
101 時間以上は 0 件、無回答は 1 件であった。詳細については別添の集計表のとおり。

< 宮古地区 > アンケート回収枚数 28 枚（うち無回答 9 件）



101 時間以上は 0 件、無回答は 9 件であった。詳細については別添の集計表のとおり。

< 八重山地区 > アンケート回収枚数 17 枚 (うち無回答 6 件)



101 時間以上は 0 件、無回答は 6 件であった。詳細については別添の集計表のとおり。

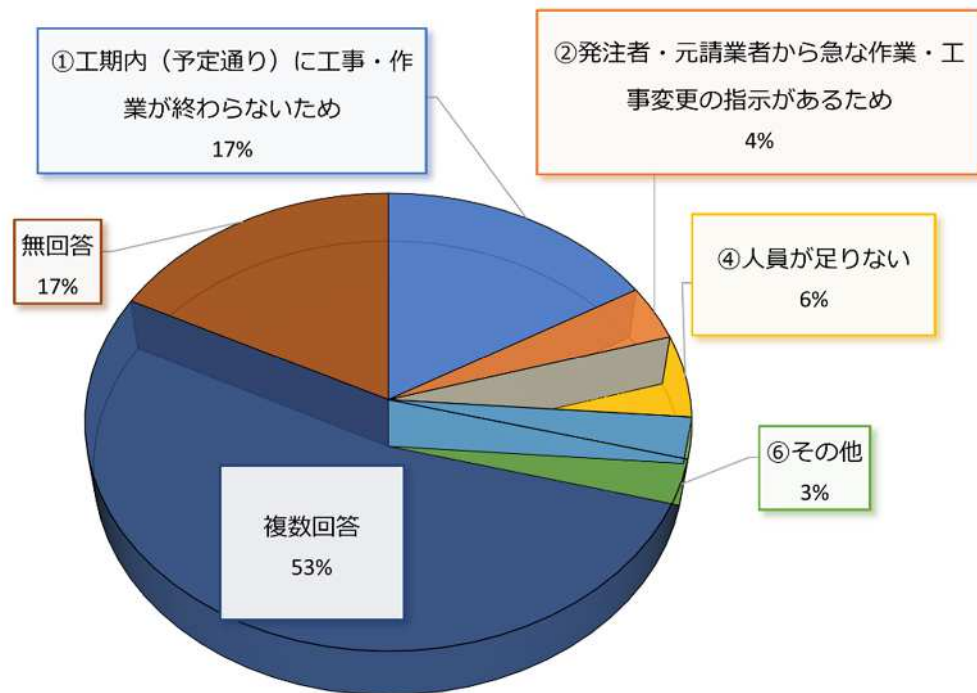
時間外・休日労働について

問6 時間外・休日労働（残業）が発生する理由【複数回答可】

選択項目

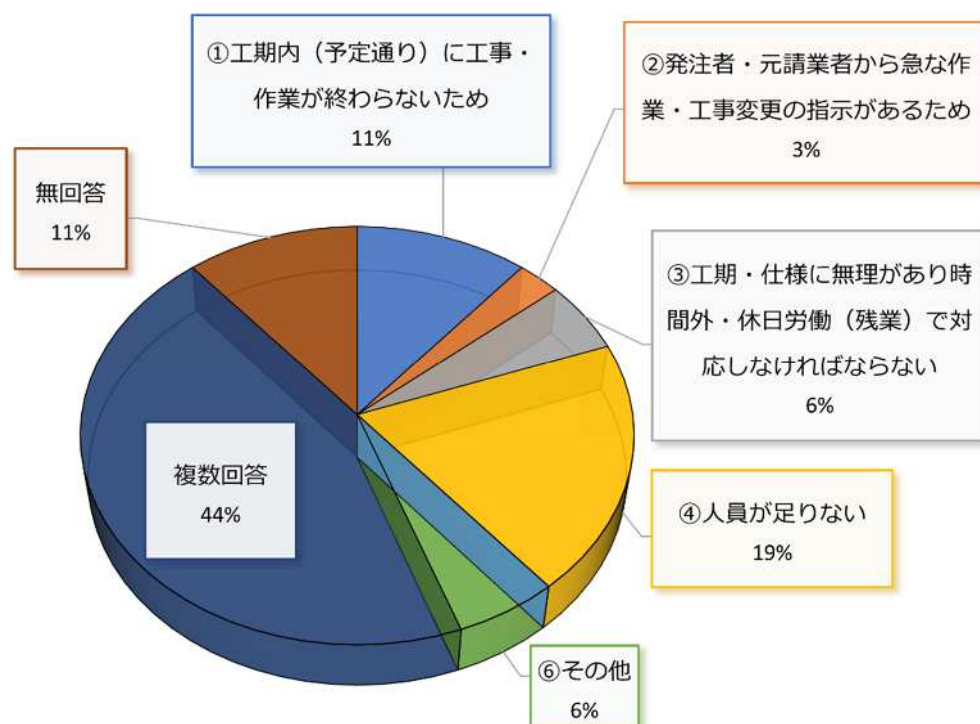
- ① 工期内（予定通り）に工事・作業が終わらないため
- ② 発注者・元請業者から急な作業・工事変更の指示があるため
- ③ 工期・仕様に無理があり時間外・休日労働（残業）で対応しなければならない
- ④ 人員が足りない
- ⑤ 作業効率が悪く進捗が遅い
- ⑥ その他。

< 中南部地区 > アンケート回収枚数 103 枚（うち無回答 18 件）



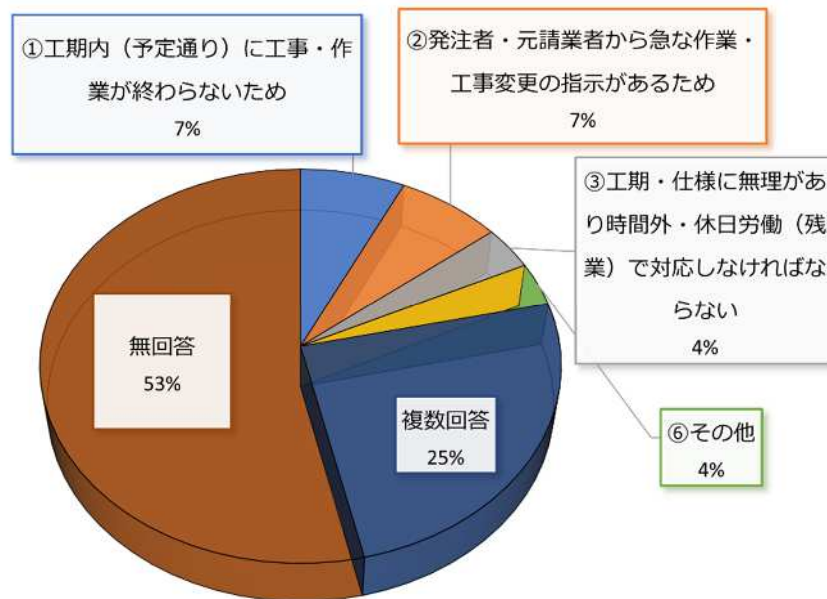
時間外・休日労働（残業）が発生する理由として、複数回答する事業場が半分以上であった。その他の回答として、「元請業者等から作業日の指定がある場合に対応」「気象条件」「建築の工程遅れにより設備業者に負担がくる」「設計変更が多々あるため、資料作成があるため」「現場までの通勤時間が残業時間のかなりの比率になっている」等の回答あり。無回答は 18 件。詳細については別添の集計表のとおり。

< 北部地区 > アンケート回収枚数 36 枚（うち無回答 4 件）



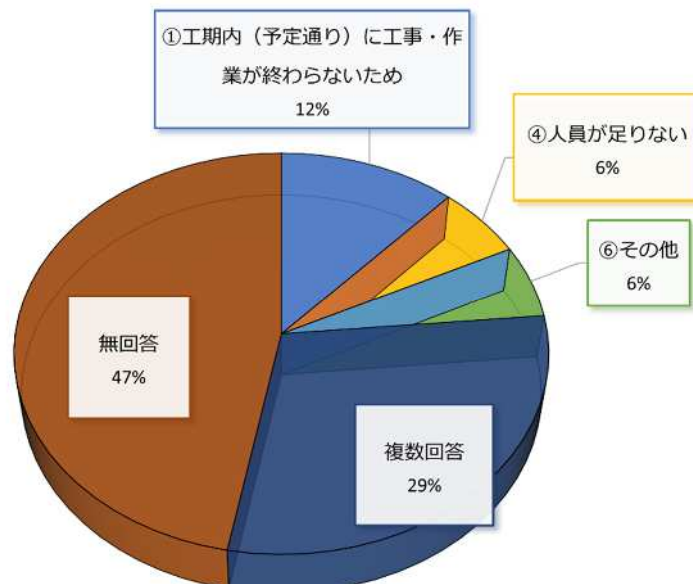
その他の回答として、「元請が現場に土日出ると残業になってしまう」「部間別で偏りあり」「天候変化に伴うものがある」「設計図と現場施工が合わない、支障物など対応が悪く、施工者が変更図や数量をまとめたり、余計な仕事が多い」「元請のため、作業終了後の戸締り確認などの作業があり残業が発生する」等の回答あり。無回答は 4 件。詳細については別添の集計表のとおり。

< 宮古地区 > アンケート回収枚数 28 枚（うち無回答 15 件）



その他の回答として、「書類作成が多い」「天候に左右される」等の回答あり。無回答が 15 件と半分の割合を占めている。詳細については別添の集計表のとおり。

< 八重山地区 > アンケート回収枚数 17 枚（うち無回答 8 件）



その他の回答として、「定例業務（予算・決算）につき、とりまとめる分時間外が生じる」「工期に余裕をもつため」としていた。無回答は 8 件。詳細については別添の集計表のとおり。

人材確保対策及び発注者等への要望について

問7 人材確保対策として取り組んでいること 【複数回答可】

選択項目

基本給をアップしている

完全週休2日制

福利厚生をPR

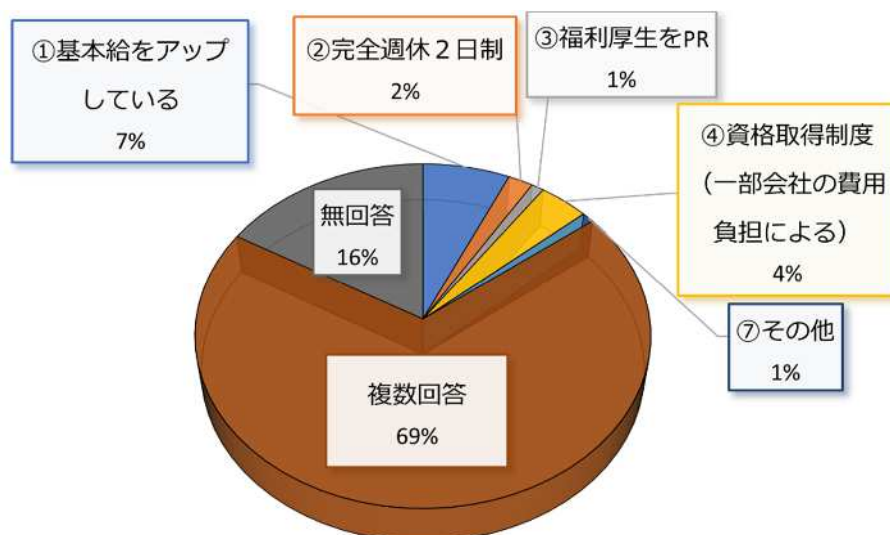
資格取得制度（一部会社の費用負担による）

長期休暇制度（GWや年末年始の長期休暇制度等）の導入

人材派遣等を活用している

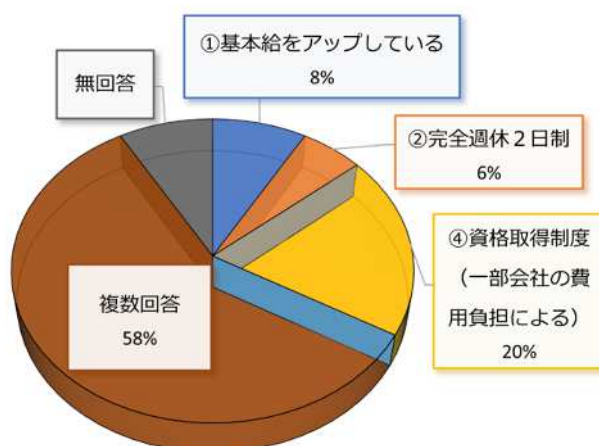
その他。

< 中南部地区 > アンケート回収枚数 103 枚（うち無回答 17 件）



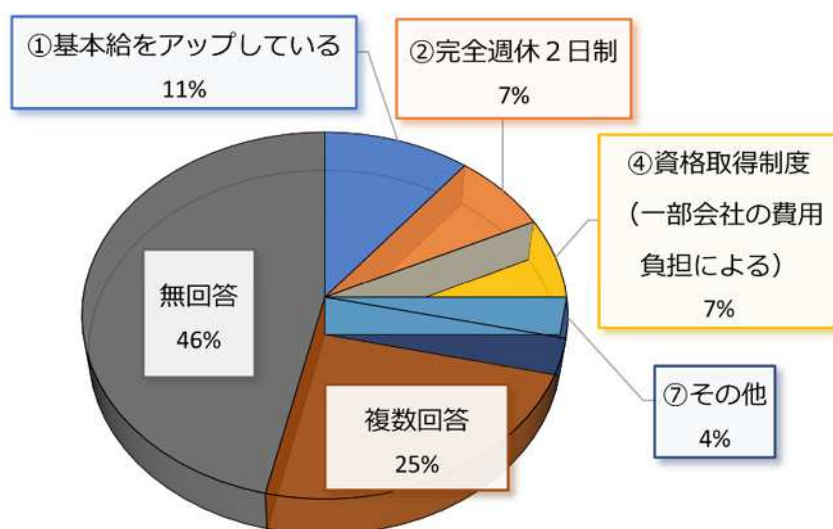
その他の回答として、「みこみ残業代を支給している」「希望休制度導入」「ハローワーク等求人広告」等の回答あり。詳細については別添の集計表のとおり。

< 北部地区 > アンケート回収枚数 36 枚（うち無回答 3 件）



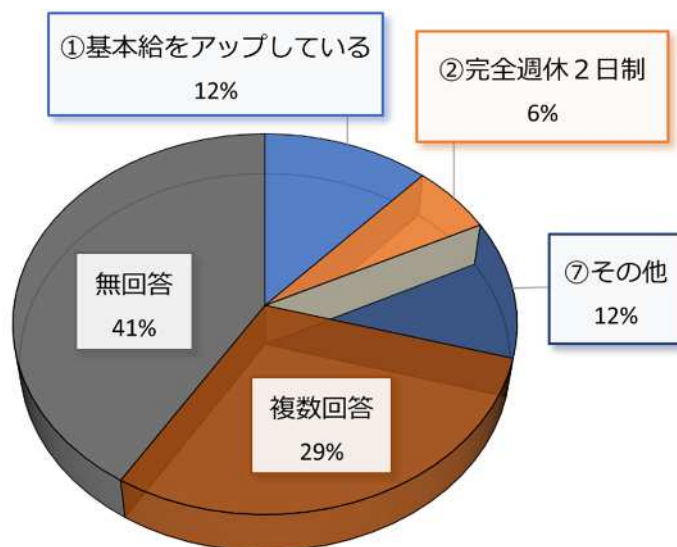
その他の回答として、「リフレッシュ休暇の導入」等の回答あり。詳細については別添の集計表のとおり。

< 宮古地区 > アンケート回収枚数 28 枚（うち無回答 13 件）



詳細については別添の集計表のとおり。

< 八重山地区 > アンケート回収枚数 17 枚 (うち無回答 7 件)



その他の回答として、「ハローワークの活用」等の活用あり。詳細については別添の集計表のとおり。

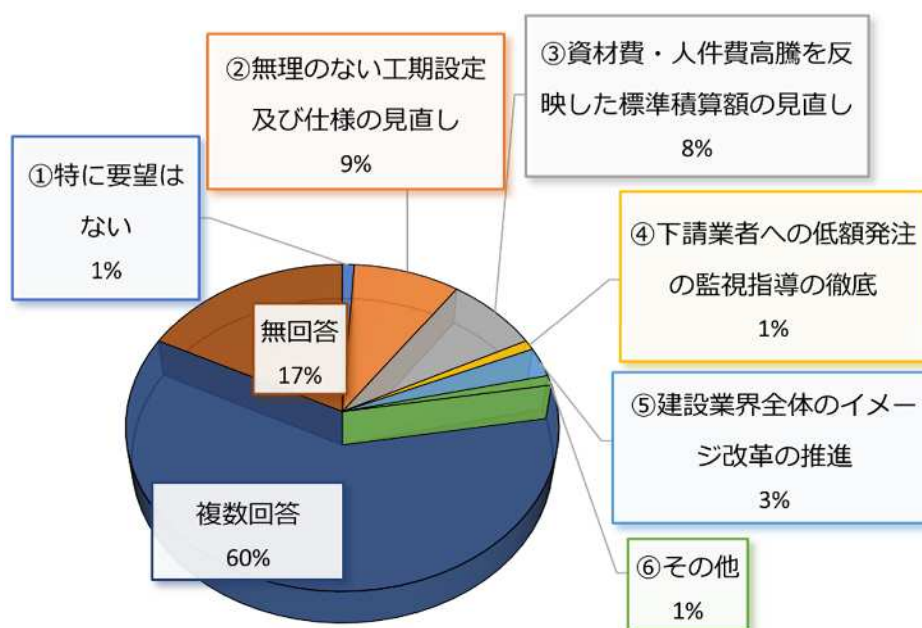
人材確保対策及び発注者等への要望について

問8 週休2日制、労働時間削減に係る発注者への要望【複数回答可】

選択項目

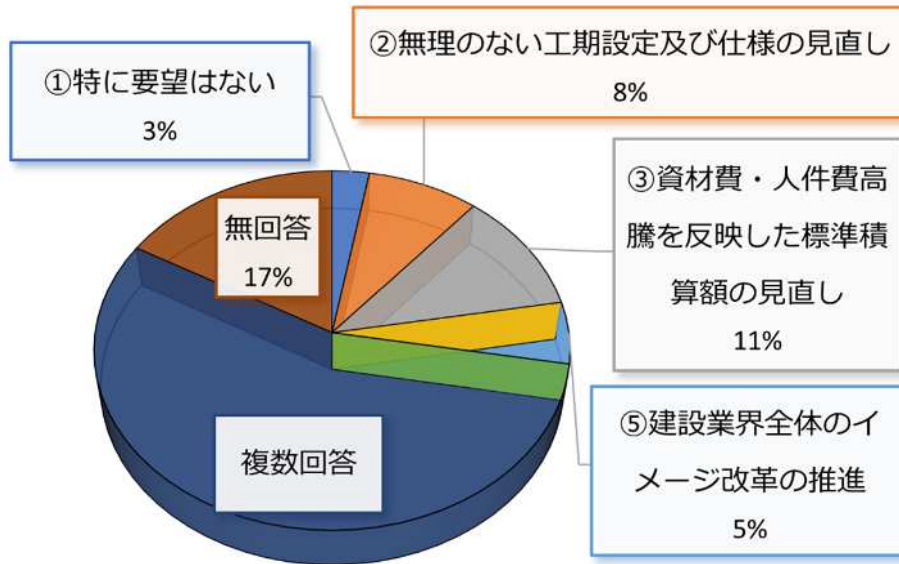
- 特に要望はない
- 無理のない工期設定及び仕様の見直し
- 資材費・人件費高騰を反映した標準積算額の見直し
- 下請業者への低額発注の監視指導の徹底
- 建設業界全体のイメージ改革の推進
- その他。

< 中南部地区 > アンケート回収枚数 103 枚 (うち無回答 18 件)



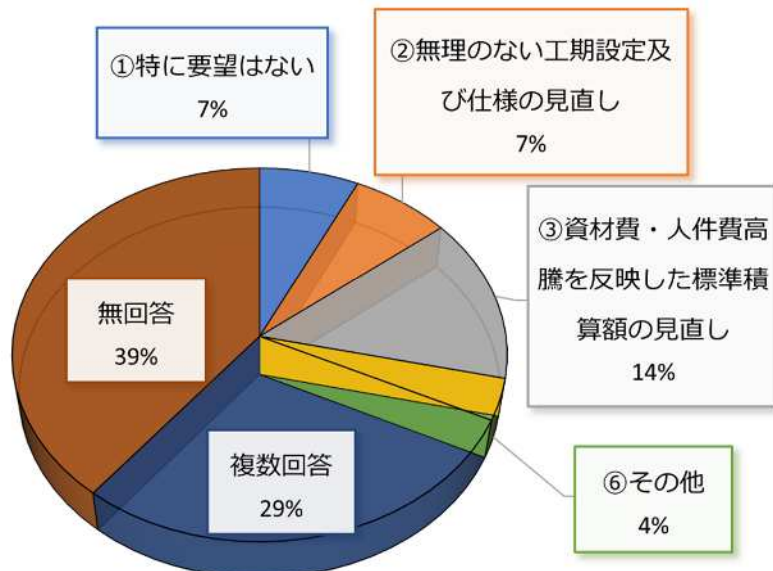
複数回答の中で多く選択されていた項目は「無理のない工期設定及び仕様の見直し」と「資材費・人件費高騰を反映した標準積算額の見直し」の組み合わせであった(回答件数 22 件)。複数回答 60%のうち 35%を占めている。その他の回答として「数年先の予算の確保」「公共工事などは施設が休日でないとな作業が出来ない為、休日に作業日を充てるしかないのが現状です」「現場作業員及び下請業者の料金が高騰しています」「市町村発注工事についても週休二日制を導入してほしい」等の回答あり。詳細については別添の集計表のとおり。

< 北部地区 > アンケート回収枚数 36 枚（うち無回答 6 件）



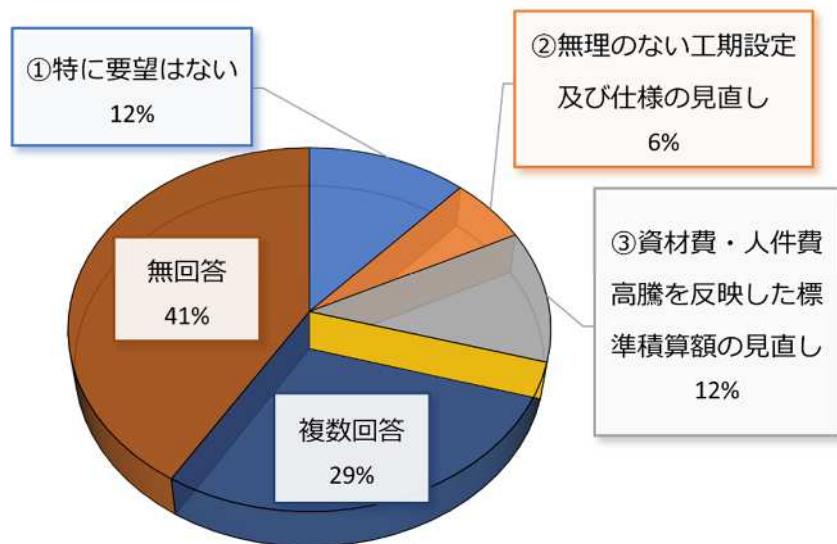
詳細については別添の集計表のとおり。

< 宮古地区 > アンケート回収枚数 28 枚（うち無回答 11 件）



その他の回答として「意思決定の統一」「その分の経費増に対する考慮」等の回答あり。
詳細については別添の集計表のとおり。

< 八重山地区 > アンケート回収枚数 17 枚 (うち無回答 7 件)



詳細については別添の集計表のとおり。

労働時間等削減に関するご意見

統合版

標準積算価格を見直す事は早急に対応してほしい。資金がないと給料も上げられず、退職者が増えます。最低賃金は上がっても、積算価格が上がらないので、意味がない。公共工事の追加工事には人工代がつかない。人が働くのに不合理である。

働き方改革の見直しを求めます。現場が働きやすいように企業側にある程度任されるべき。国からいちいち規制されるのが建設業界衰退の一因だと思う。肉体労働は“もうかる”という実績が建設業の未来へつながる。

人材確保が課題。

経営層は、まだまだ工期重視。
経営管理責任者への研修・講習を必須とし、経審へ反映してほしい。

人材不足の中、労働時間削減が難しい状況。もう少し労働時間制限枠(時間外労働)を広げてほしい。

公共工事の完全週休二日制が浸透して、休みをあげられるようになった。

民間工事については、無理な工期設定され、土日作業も要求してくる。
土曜・日曜に稼働している現場に対し、休日状況を調査確認してほしい。
(下請業者は元請や発注者に対して意見しにくい)

中小零細の建設会社が完全週休二日制導入に無理のない仕組みを構築してほしい。
特に民間工事業者においては厳しいものがあると思います。

公共・民間ともに適正な工期を組んで完全な週休二日にしてほしい。

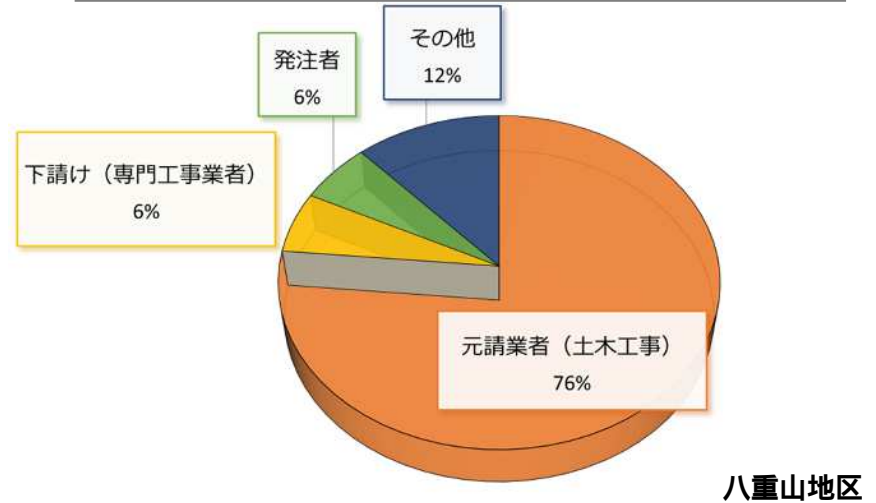
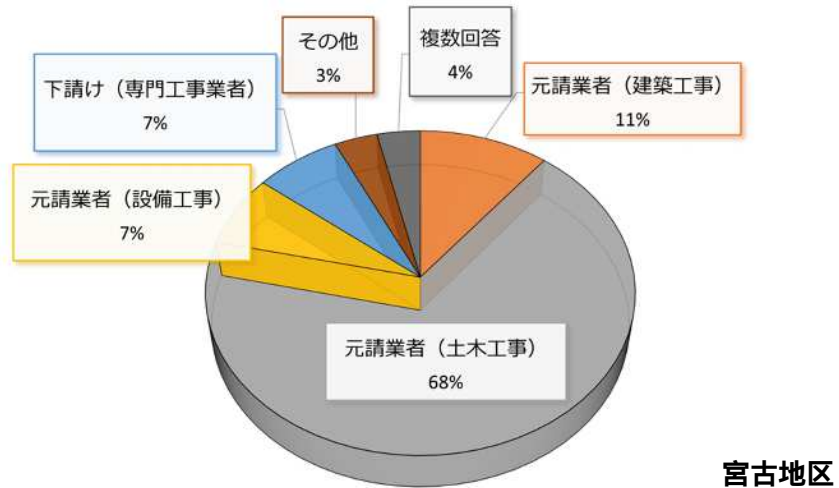
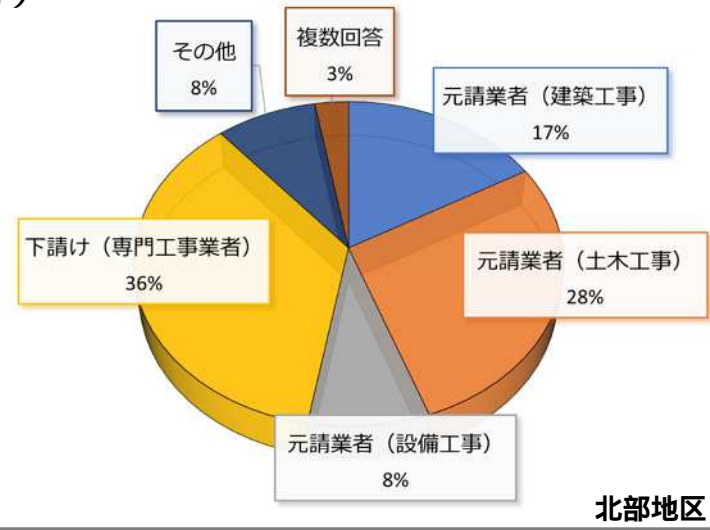
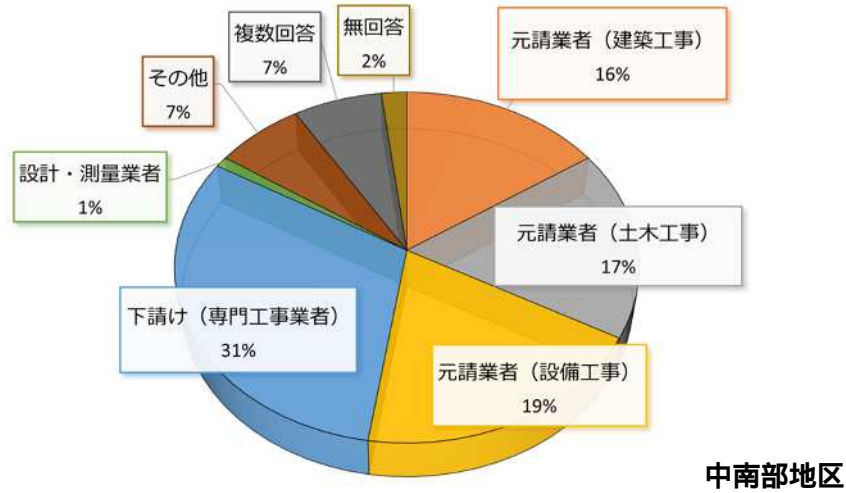
工期設定に余裕がほしい。

民間の工期の見直しが急務。
説明会であった「工事書類のスリム化」を実施する現場の負担が軽減されているが、
県・市町村発注工事では実施がほぼされていないので、現場への実施の推進していただきたい。

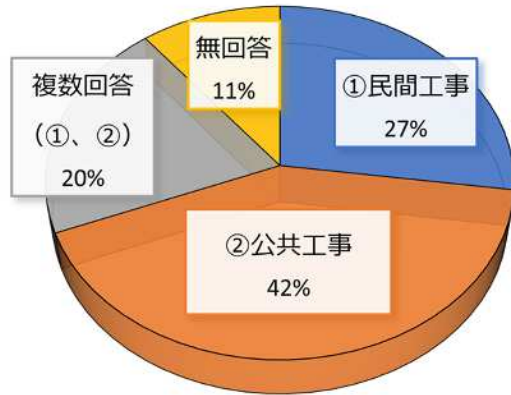
年々温暖化により、熱中症が増え、作業の合間の長時間労働をなくし、休憩を与えるため、
実際の作業時間は短縮される実態がある。

偏りのない方法の検討必要(作業の見直し)。

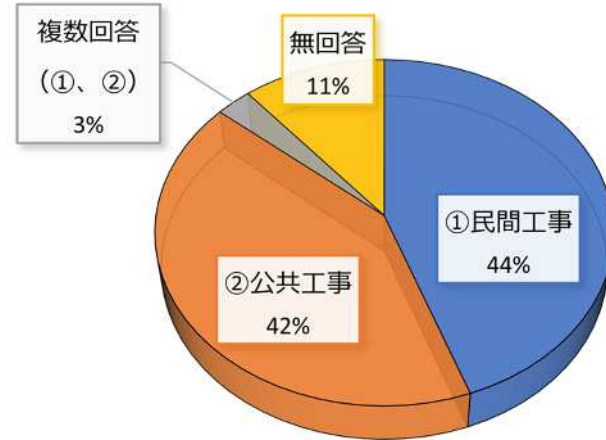
参加者に関すること (問1.参加者の所属)



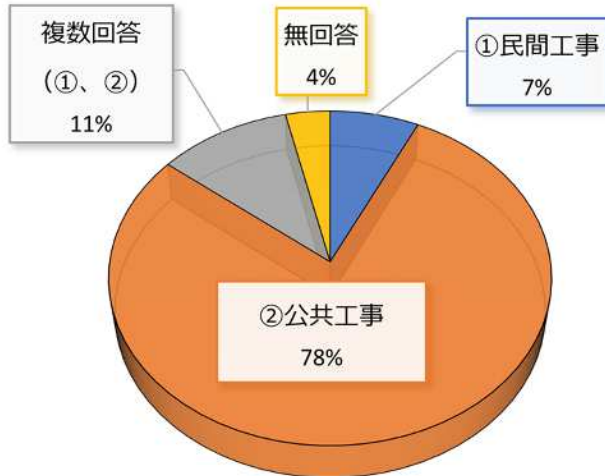
参加者に関すること
(問2.主に受注している工事)



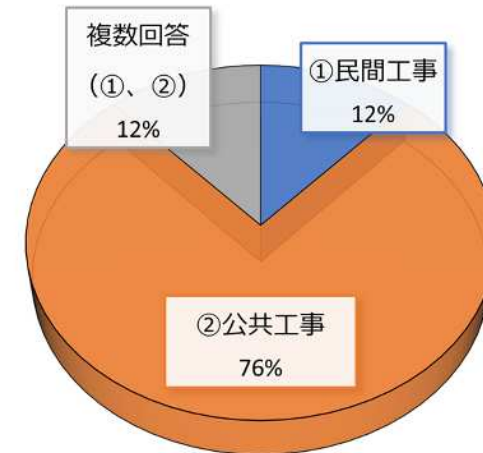
中南部地区



北部地区

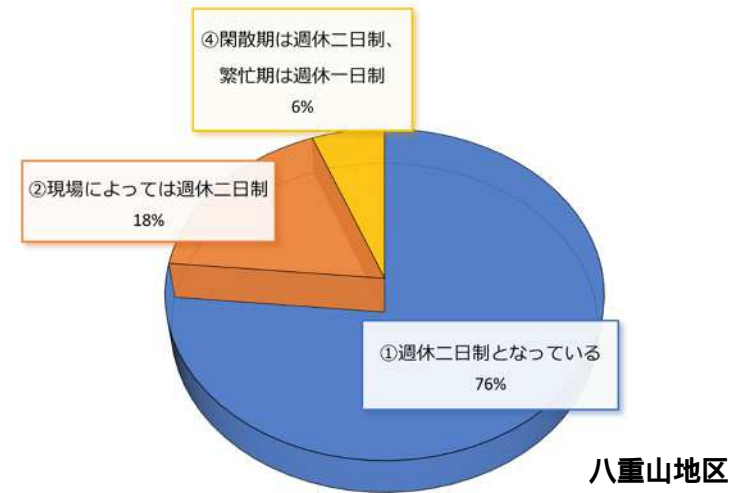
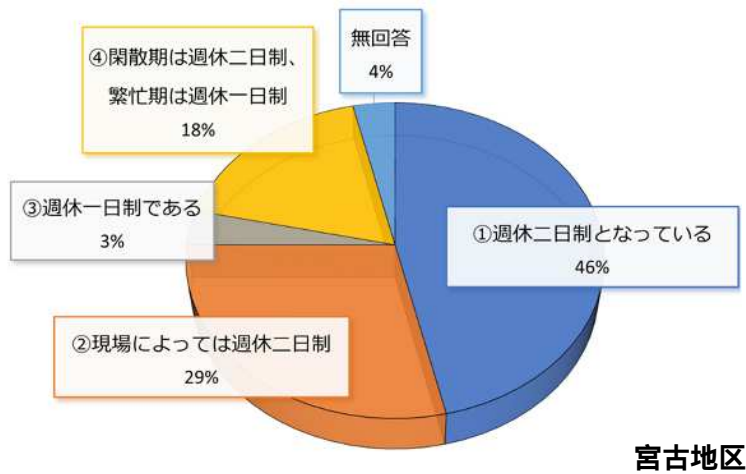
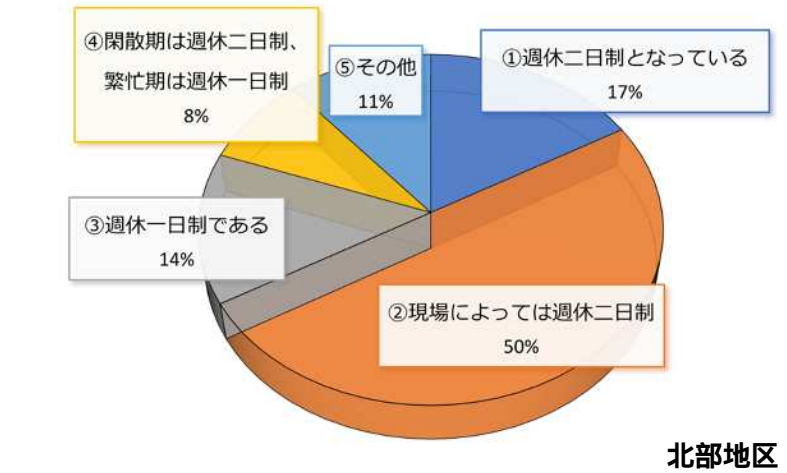
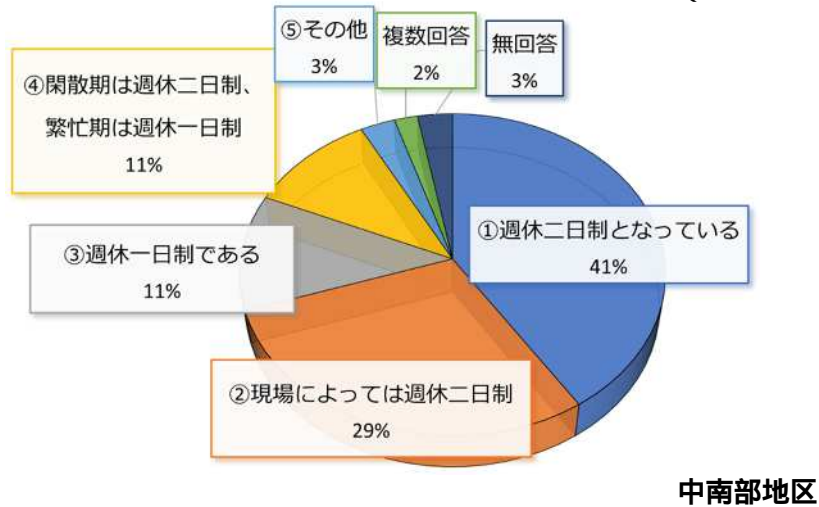


宮古地区

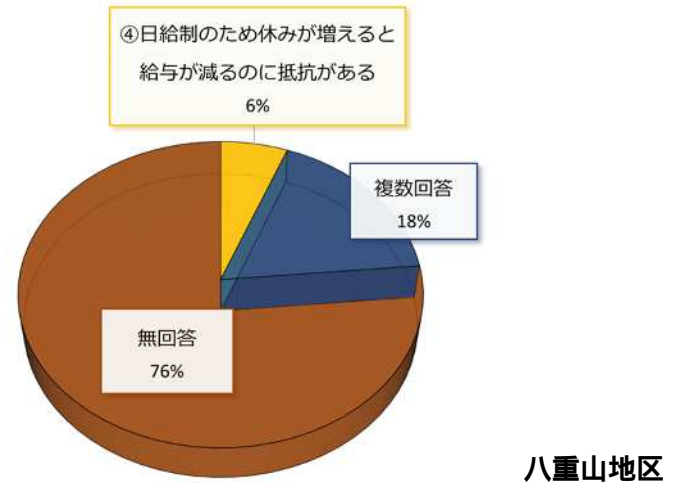
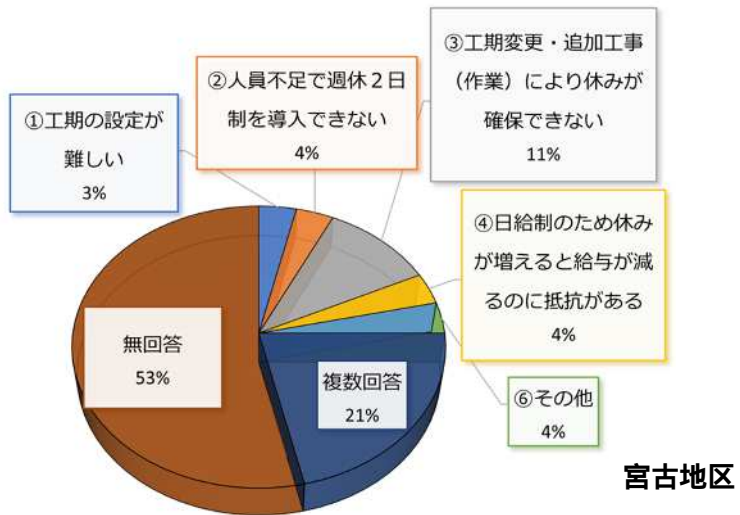
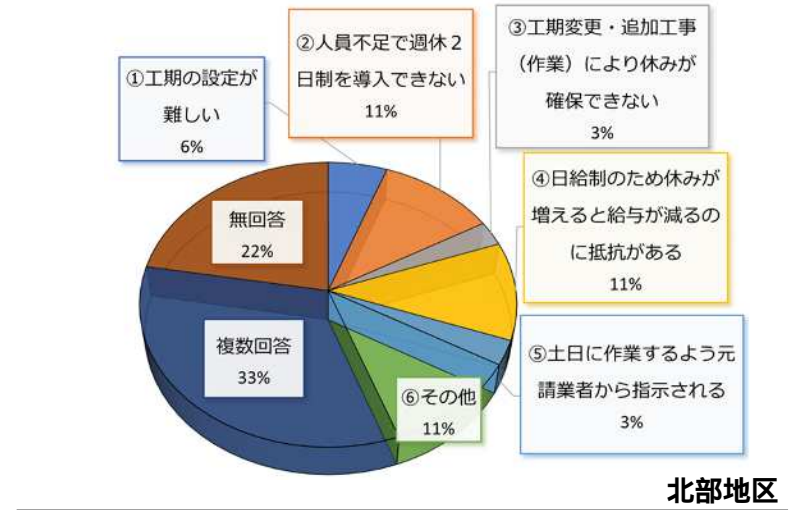
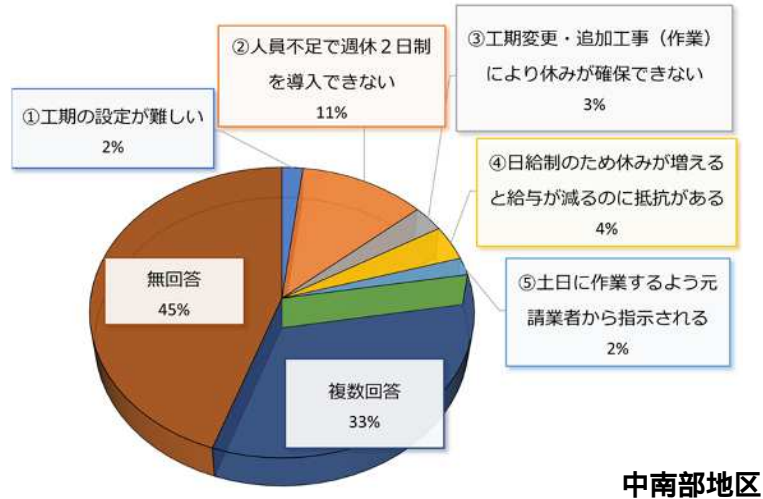


八重山地区

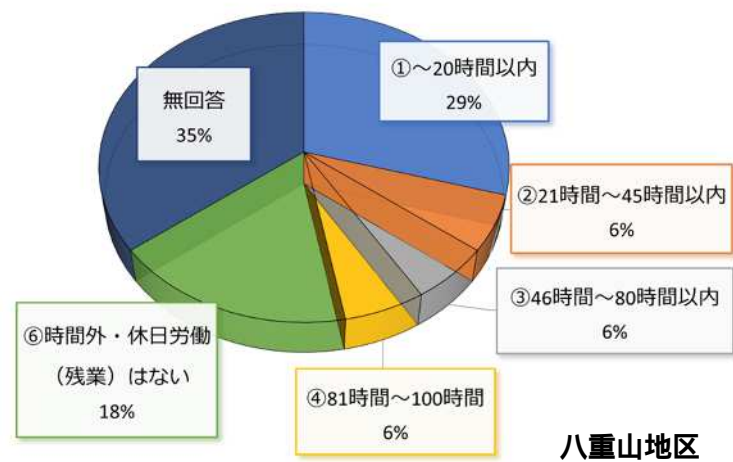
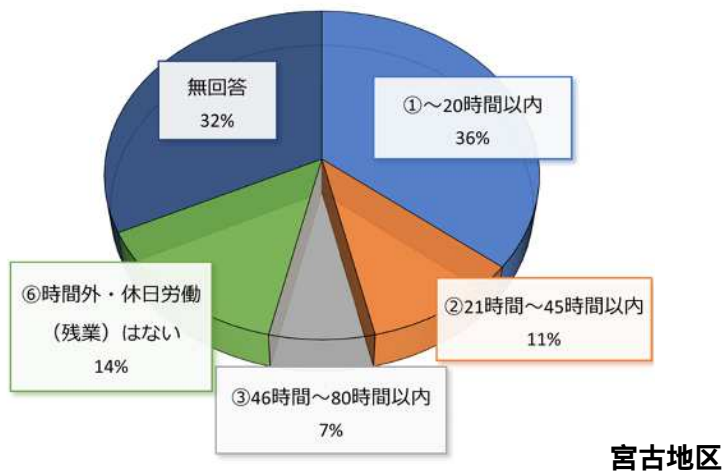
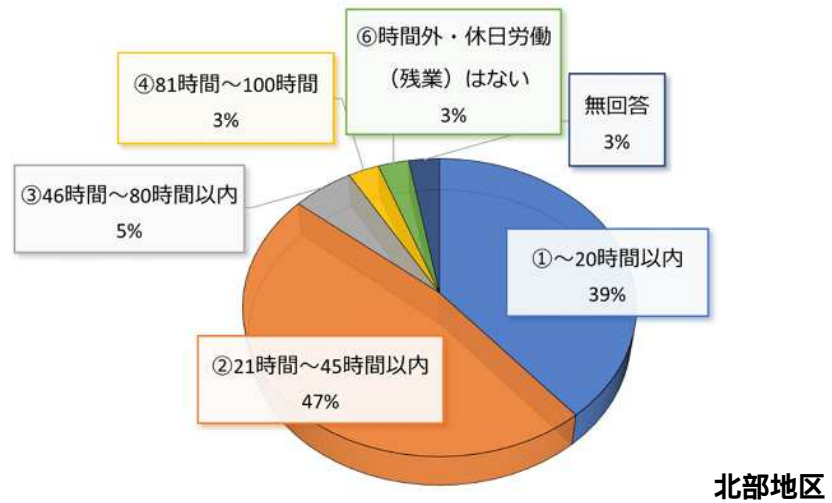
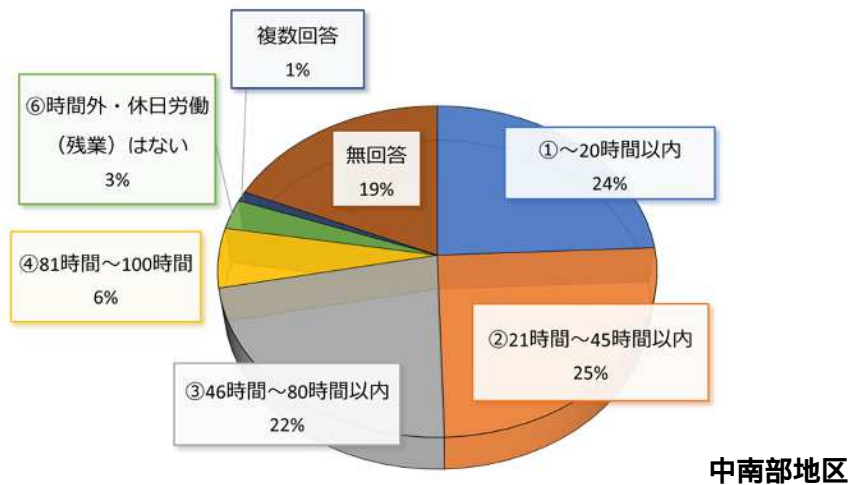
休暇制度について (問3.現場は週休二日制か)



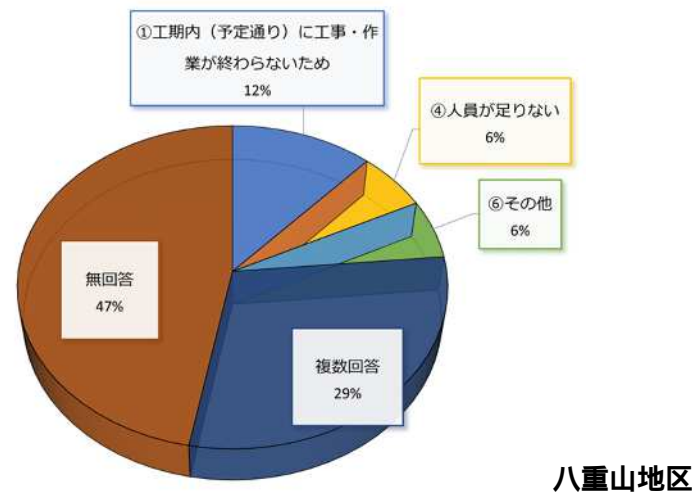
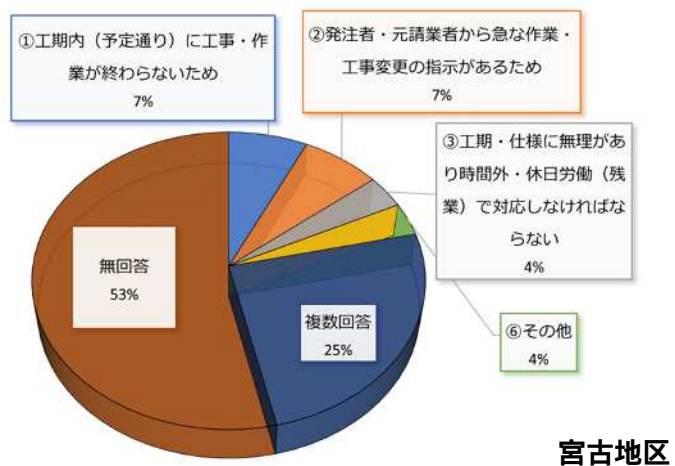
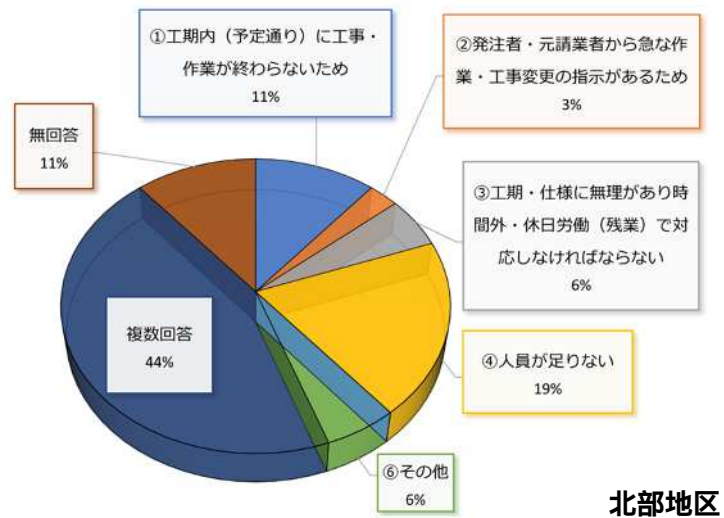
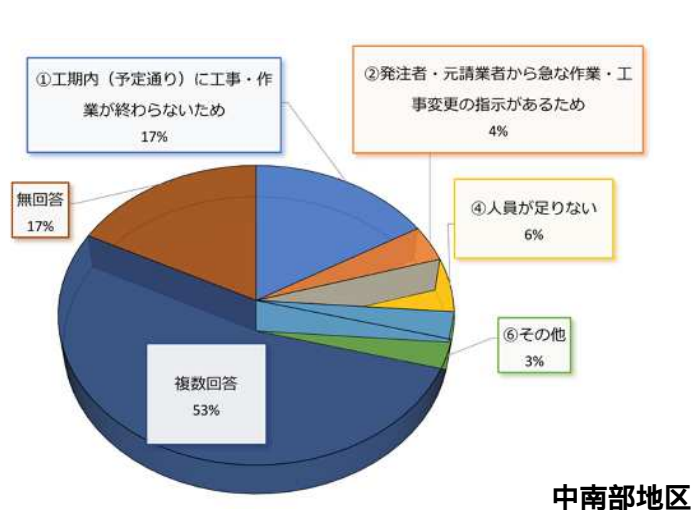
休暇制度について (問4. 週休二日制ではない理由)



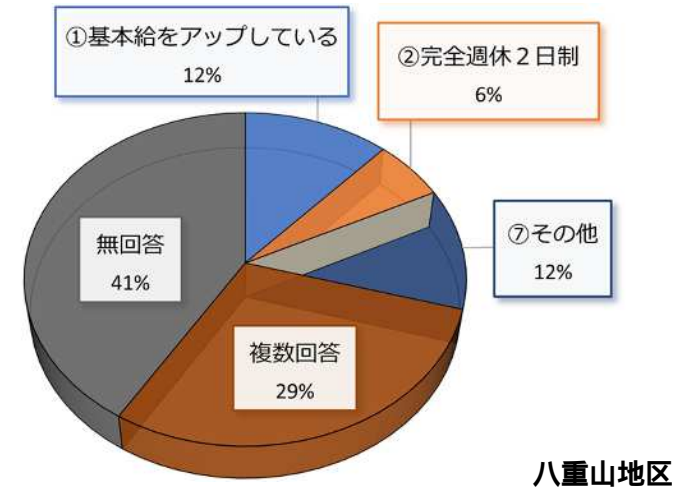
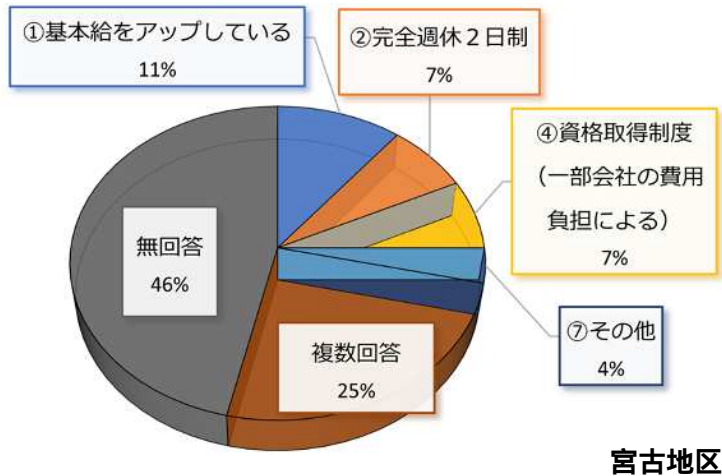
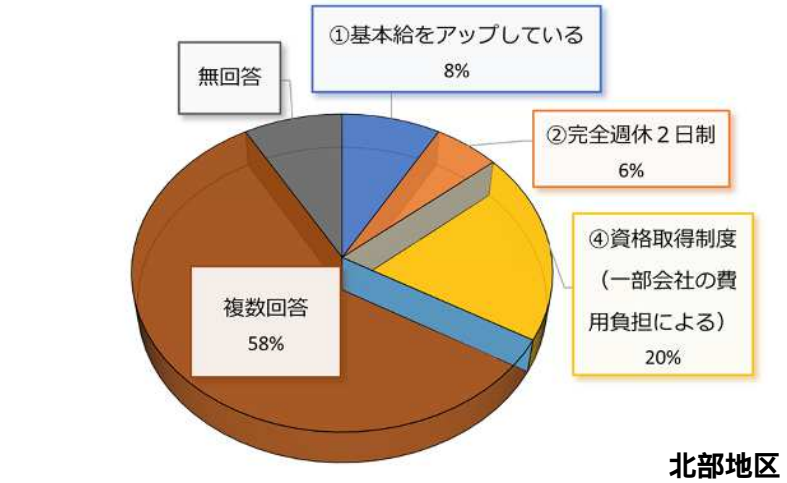
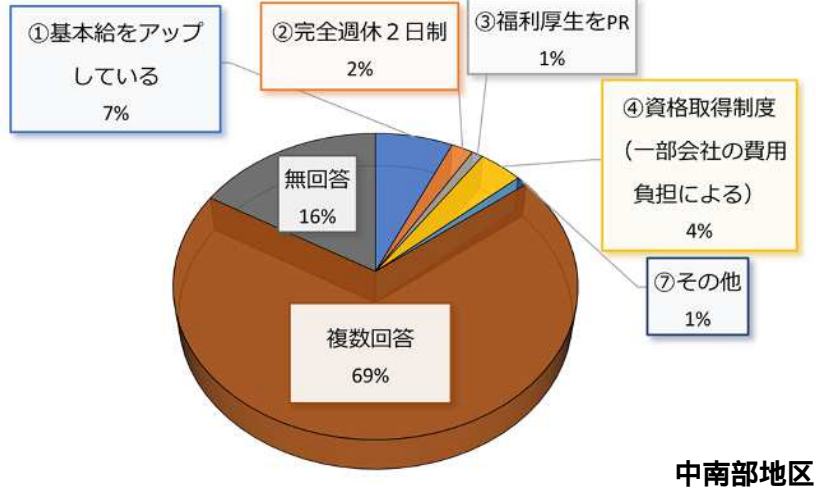
時間外・休日労働について
 (問5. 1か月の時間外・休日労働時間数 最多の方)



時間外・休日労働について (問6. 時間外・休日労働が発生する理由)



人材確保対策及び発注者等への要望について
 (問7. 人材確保対策として取り組んでいること)



人材確保対策及び発注者等への要望について (問8. 週休2日制、労働時間削減に係る発注者への要望)

